

EDU100 生涯学習概論

2年 1,2クォーター

担当教員 羽田野 慶子

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 要素を含む

単位数 2

曜日・時限 水曜日・2時限

授業概要

大きな変化を迎えるであろうこれからの時代を生きていく私たちにとって、生涯にわたって学び続ける生涯学習の理論とその実践を学ぶことは、仕事に就いて働く上でも、家族や地域社会で生活していく上でも、誰しも必要な基礎知識である。

この授業では、人が生涯にわたって学び続ける生涯学習の理論・歴史・思想、および現代における生涯学習の制度と実態を、具体的な事例に基づいて学習する。成人教育の特性であるアンドラゴジーの理論とその批判的検討、代表的な成人教育の実践事例であるブラジルの識字教育など、世界的な生涯学習の潮流をふまえた上で、現代の日本社会における生涯学習の位置づけと期待される役割について、学校教育、まちづくり、男女共同参画、グローバリゼーション等との関係を見据えながら問題提起する。

さまざまな生涯学習・社会教育専門職およびそれらに準ずるコーディネーター役割を求められる職業の広がり概説し、学外研修を通じてそれらの実践者との交流を促す。

現場を知る人々との交流から、生涯学習社会の構築に向けた様々な施策、および地域コミュニティの特性に応じた生涯学習の実践事例を学び、学習活動のコーディネート・スキルの基礎を習得することを目指す。

到達目標

- (1) 生涯学習の基本的な考え方を理解し、「いつでも誰でも学べる社会」の実現に向けた課題について考察する。
- (2) 生涯学習に関する基本的な知識の習得と学外研修への参加をふまえ、社会教育の現場で活動する専門職などさまざまな立場で生涯学習にかかわる人々との交流を通じて、生涯学習・社会教育に関わる実践事例レポートをまとめる。

先修科目

国際地域概論

教科書・参考資料等

教科書：

(1) 田中雅文ほか，2008，『テキスト生涯学習：学びがつむぐ新しい社会』学文社。

(2) 岩上真珠ほか編，2014，『大学生のためのキャリアデザイン入門』有斐閣。

参考書：

(1) 堀薫夫・三輪建二，2006，『新訂 生涯学習と自己実現』（財）放送大学教育振興会。

(2) パトリシア・クラントン，1999，『おとなの学びを拓く』入江直子他訳，2006，鳳書房。

(3) パウロ・フレイレ，1970，『被抑圧者の教育学』小沢有作他訳，1979，亜紀書房。

(4) 日本社会教育学会編，2009，『学び合うコミュニティを培う』東洋館出版社。

(5) 山崎亮，2012，『コミュニティデザインの時代』中公新書。

(6) 日本社会教育学会編，2001，『ジェンダーと社会教育』東洋館出版社。

授業の方法

授業は講義形式を基本とするが、各回のテーマに基づき、一部ディスカッションを取り入れる。実践事例レポートの作成にあたっては、学外研修への参加を要する。生涯学習に関する知識を学ぶだけでなく、自ら学習の主体として、また他者の学習の支援者として授業に参加することが期待される。

成績評価

授業後に提出するレスポンスペーパー、生涯学習・社会教育の実践事例をふまえたレポート、および授業中のディスカッションへの参加状況を総合して評価する。

成績

30%	レスポンスペーパー (RP)
50%	実践事例レポート
20%	ディスカッションへの参加状況

授業スケジュール

第1回：生涯学習とは何か

「生涯にわたる学習」としての生涯学習の定義と理念、歴史について、ユネスコ等国際社会における議論と日本での法律・答申等をふまえ概観する。

第2回：ペダゴジーとアンドラゴジー

成人学習の基礎理論であるアンドラゴジー概念について、子どもを対象とする教育（ペダゴジー）と対比させながら学習する。

第3回：アンドラゴジーを乗り越える

アンドラゴジーを成人教育のすべてに適用することは可能なのかを検討し、P. クラントンの意識変容学習をはじめとする批判的教育学の思想を概観する。

第4回：フレイレの識字教育

成人教育の実践事例としてパウロ・フレイレの識字教育をとりあげ、ノンフォーマル教育としての生涯学習の意義を学ぶ。

第5回：日本の社会教育制度と生涯学習政策

日本における社会教育が戦前・戦後を通じてどのような役割を果たしてきたかを概観し、社会教育から生涯学習政策への展開を学習する。

第6回：学校教育と生涯学習

生涯学習社会における学校教育の役割と、学校教育・社会教育・家庭教育それぞれの連携のあり方について、実践事例に基づき検討する。

第7回：生涯学習・社会教育専門職の役割

社会教育主事、公民館主事、児童館指導員等、社会教育専門職の法的位置づけ、仕事の内容、労働環境、および専門職として期待されるコーディネーターの役割について考える。

第8回：コーディネーターとしての役割が期待される職業

社会福祉関係職、大学職員、行政職員、企業の人事・研修担当者等、組織やコミュニティのコーディネーターや人材育成を担う多様な職業の事例を学ぶ。

第9回：まちづくりと生涯学習

地域コミュニティの再生のための市民主体のまちづくりの実践を、生涯学習を通じたまちづくりとして把握し、若い世代の参画について検討する。

第10回：生涯学習・社会教育の現場から学ぶ①

生涯学習・社会教育の現場で実践に携わる専門職の実践事例から、地域における生涯学習・社会教育の現状と課題を学習する。

第11回：生涯学習・社会教育の現場から学ぶ②

生涯学習・社会教育の現場で実践に携わる専門職の人々が直面しているさまざまな地域課題について、学生の立場からどのような支援ができるかを検討する。

第12回：男女共同参画と生涯学習

従来、婦人教育という枠組みで捉えられてきた女性に対する生涯学習が、男女共同参画社会の実現に向けた男女双方の学習へと展開した流れを概観する。

第13回：キャリア形成と生涯学習

生涯学習の機会を活用してキャリアアップを実現した個人の事例を検討し、職業のみに限定されない自らの生涯にわたるキャリアを展望する。

第14回：グローバル化と生涯学習

グローバル化が進む社会において、異なる背景を持つ人々が互いの多様性を認め、協働するために生涯学習が果たすべき役割について検討する。

第15回：生涯学習社会の実現に向けて

生涯学習に関わる公共施設の利用状況、地域活動・ボランティア活動等への参加状況を概観し、「いつでも誰でもどこでも学べる社会」の実現のために必要な方策を検討する。

事前・事後学習

- ・ 予習：参考図書の該当する章を一読し、疑問点を確認した上で、ディスカッションの論点を準備する（2時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、レポート作成に向けて内容を整理する（1時間程度）。